

カニギンモンアミカ

Neohapalothrix kanii Kitakami

ハエ目アミカ科

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

選定理由 国内および県内における分布が局限されている。

形態 オスの体長は6mm内外で、翅長は6～6.5mm。メスの体長は4.5～5mm、翅長は6～6.5mmである。幼虫の腹背が扁平である。改称前の種名はカニアミカ。

国内分布 石川県、長野県、岐阜県、和歌山県に分布する。

県内分布 白山市渡津～若原までの大日川と杖川で生息が確認されている。

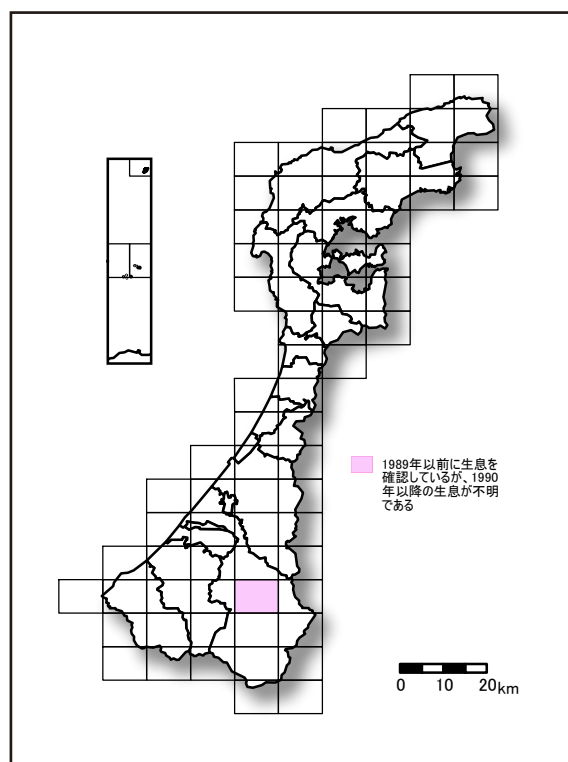
生態 年1化性で、成虫は6～7月に出現する。幼虫はやや流速のある溪流の水底の礫面上で固着生活をする。

生息地の条件 水質の良い流域に生息する。

生存の危機 河川改修や土砂の流入、水質汚染が進めば、生存が脅かされる。(A)

参考文献 富樫一次 1960. 手取川水系に産するアミカ類. 生物研究(福井), 4(1): 1-2.
平嶋義宏ほか 2008. 新訂 原色昆虫大図鑑 第三巻: 384. 北隆館. 東京.

写真(図)はありません。



県内の分布